平成24年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年5月11日

上場会社名　株式会社 デジタルガレージ　　上場取引所　大
コード番号　4819　URL　http://www.garage.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役CEO　(氏名) 林　郁
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 コーポレートストラテジー本部 管掌　(氏名) 曽田　誠　TEL 03-6367-1111

四半期報告書提出予定日　平成24年5月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年6月期第3四半期の連結業績(平成23年7月1日～平成24年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年6月期第3四半期	11,500	49.5	2,011	―	2,858	804.7	2,358	757.4
23年6月期第3四半期	7,693	29.9	△305	―	316	―	275	―

(注)包括利益　24年6月期第3四半期　2,498百万円　(674.0%)　23年6月期第3四半期　322百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年6月期第3四半期	10,959.09	10,951.73
23年6月期第3四半期	1,489.96	1,489.38

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年6月期第3四半期	33,180	20,693	62.1	94,575.36
23年6月期	20,421	9,895	48.1	53,120.15

(参考) 自己資本　24年6月期第3四半期　20,598百万円　23年6月期　9,824百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年6月期	―	0.00	―	0.00	0.00
24年6月期	―	0.00	―		
24年6月期(予想)				1,000.00	1,000.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年6月期の連結業績予想(平成23年7月1日～平成24年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,800	24.7	1,350	896.5	2,500	157.0	2,100	133.1	9,729.27

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年6月期3Q	219,084 株	23年6月期	186,224 株
② 期末自己株式数	24年6月期3Q	1,284 株	23年6月期	1,284 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年6月期3Q	215,196 株	23年6月期3Q	184,616 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）セグメント情報等 …… 8
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当社グループは、第１四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更したため、前年同期比較にあたっては前第３四半期連結累計期間分を変更後の区分に組み替えて行っております。変更の内容につきましては、「２．四半期連結財務諸表（４）セグメント情報等」に記載のとおりであります。

当第３四半期連結累計期間における我が国経済は、原油価格の高騰や電力供給の不足などが懸念されるものの、日銀による追加金融緩和をきっかけに円高が一服するなど、回復の兆しを見せております。一方で、当社を取り巻くインターネット及びブロードバンド関連の環境につきましては、平成23年12月末時点でブロードバンド契約数が約3,770万となるなど、若干鈍化傾向にあるものの継続的な拡大基調にあります。

このような事業環境の下、当社グループは広告・プロモーション機能と決済機能を融合したビジネスセグメントをプラットフォームとして、投資を伴うビジネスインキュベーションを行っております。当社グループのプラットフォームである決済事業の更なる拡大のために、平成24年３月29日にＳＢＩホールディングス㈱と、同社の100%子会社であるＳＢＩベリトランス㈱（平成24年５月１日付でベリトランス㈱へ商号変更しております）の全株式を取得する株式譲渡契約を締結致しました。当社の決済事業との事業統合も視野に入れながら、国内の電子決済インフラにおける最大のプラットフォームを提供する事業グループの構築、さらに、アジア地域を中心に決済機能を柱とするビジネスプラットフォームのグローバル展開を目指してまいります。

当第３四半期連結累計期間におきましては、ハイブリッド・ソリューション事業が好調に推移したこと及びベンチャー・インキュベーション事業において保有株式を一部売却したことから、当社グループの連結売上高は11,500百万円（対前年同期比3,806百万円増、同49.5%増）となり、営業利益は2,011百万円（前年同期は営業損失305百万円）となりました。また、持分法による投資利益の計上等により、経常利益は2,858百万円（対前年同期比2,542百万円増、同804.7%増）となり、四半期純利益は2,358百万円（対前年同期比2,083百万円増、同757.4%増）となりました。

セグメントの業績は、以下のとおりであります。

［ハイブリッド・ソリューション事業］

ハイブリッド・ソリューション事業におきましては、ウェブとリアルを融合した総合プロモーション及びインターネット広告等のウェブマーケティング並びにEコマースにおける決済ソリューションの提供を行っております。決済ソリューションを提供するイーコンテクストカンパニーにおいては、既存事業が引き続き伸長し、さらに「価格.com安心支払い」などの新サービスが順調に拡大したことなどにより、決済の取扱件数・取扱高ともに過去最高を記録致しました。広告・プロモーションを手掛けるディージー・アンド・アイベックスカンパニーは、インターネット広告などのウェブマーケティング領域が牽引して、好調に推移致しました。

当第３四半期連結累計期間における売上高は7,984百万円（対前年同期比1,296百万円増、同19.4%増）、営業利益は820百万円（対前年同期比307百万円増、同60.0%増）となりました。

［メディア・インキュベーション事業］

メディア・インキュベーション事業におきましては、「Twitter」を活用した広告販売を中心事業として展開しながら、次なる新規メディアの開発に取り組んでおります。グローバルにメディア育成・開発を実行するために、米国サンフランシスコに設立したNew Context, Inc. を拠点に国際的な開発ネットワークを整備し、インターネットサービスを効率よく開発する手法として注目を集める「アジャイル開発」や「Lean Startup」に基づきサービス開発を支援する体制の構築を進めてまいりました。

当第３四半期連結累計期間における売上高は985百万円（対前年同期比220百万円増、同28.8%増）、営業損失は59百万円（前年同期は営業損失187百万円）となりました。

［ベンチャー・インキュベーション事業］

ベンチャー・インキュベーション事業におきましては、国内外のベンチャー企業への投資・育成等を行っております。保有株式を一部売却した結果、当第３四半期連結累計期間における売上高は2,530百万円（対前年同期比2,289百万円増、同949.6%増）、営業利益は2,024百万円（前年同期は営業利益83百万円）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

（流動資産）

当第３四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べて8,909百万円増加し、23,254百万円となりました。この主な要因は、公募及び第三者割当等における新株式発行に伴う払込が完了したことなどにより現金及び預金が3,187百万円、営業投資有価証券売却等に係る受取手形及び売掛金が2,402百万円、決済事業等に係る未収入金が1,590百万円、株式の取得等により営業投資有価証券が1,079百万円、決済事業に係る金銭の信託が639百万円増加したことによるものであります。

（固定資産）

当第３四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べて3,850百万円増加し、9,926百万円となりました。この主な要因は、持分法による投資利益の計上等により投資有価証券が785百万円、新規取得等により有形固定資産が422百万円増加したことによるものの他、インキュベーションセンターの設置等を目的とした海外不動産が2,683百万円増加したことによるものであります。

（流動負債）

当第３四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べて2,159百万円増加し、12,092百万円となりました。この主な要因は、決済事業等に係る預り金が1,524百万円、未払法人税等が459百万円、仕入債務の計上等により支払手形及び買掛金が246百万円増加したことによるものであります。

（固定負債）

当第３四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べて197百万円減少し、394百万円となりました。この主な要因は、借入金の返済等により長期借入金が143百万円減少したことによるものであります。

（純資産）

当第３四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べて10,798百万円増加し、20,693百万円となりました。この主な要因は、公募増資及び第三者割当増資等に伴い、資本金が4,145百万円、資本剰余金が4,145百万円増加したこと、並びに四半期純利益の計上により利益剰余金が2,358百万円増加したことによるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年６月期の通期の連結業績予想につきましては、平成23年８月11日に発表致しました連結業績予想に変更はありません。

２．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年６月30日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,784,822	7,972,428
金銭の信託	2,501,270	3,140,924
受取手形及び売掛金	1,466,303	3,869,020
営業投資有価証券	912,055	1,991,101
投資損失引当金	△9,200	△66,757
仕掛品	69,547	76,771
原材料及び貯蔵品	813	867
未収入金	4,351,131	5,941,325
その他	280,345	340,271
貸倒引当金	△11,704	△11,359
流動資産合計	14,345,384	23,254,592
固定資産		
有形固定資産	377,434	799,545
無形固定資産		
ソフトウエア	316,695	416,287
のれん	1,768,577	1,635,528
その他	17,404	16,795
無形固定資産合計	2,102,677	2,068,610
投資その他の資産		
投資有価証券	3,305,577	4,091,072
長期貸付金	695,484	197,986
その他	328,436	2,996,865
貸倒引当金	△733,736	△227,906
投資その他の資産合計	3,595,763	7,058,016
固定資産合計	6,075,875	9,926,173
資産合計	20,421,259	33,180,766

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年６月30日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年３月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	540,603	787,069
短期借入金	2,200,000	2,380,000
1年内返済予定の長期借入金	319,054	100,008
未払法人税等	46,371	505,750
賞与引当金	80,213	86,280
預り金	6,168,961	7,693,814
繰延税金負債	13,511	63,199
その他	564,700	476,456
流動負債合計	9,933,415	12,092,578
固定負債		
長期借入金	351,316	208,310
繰延税金負債	30,991	12,895
退職給付引当金	57,322	66,345
その他	152,708	106,939
固定負債合計	592,338	394,490
負債合計	10,525,753	12,487,068
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,872,120	6,017,283
資本剰余金	5,558,171	9,703,334
利益剰余金	2,398,722	4,757,075
自己株式	△69,840	△69,840
株主資本合計	9,759,174	20,407,853
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	64,866	130,389
為替換算調整勘定	－	60,271
その他の包括利益累計額合計	64,866	190,660
少数株主持分	71,464	95,184
純資産合計	9,895,505	20,693,697
負債純資産合計	20,421,259	33,180,766

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成22年７月１日 至　平成23年３月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成23年７月１日 至　平成24年３月31日）
売上高	7,693,891	11,500,423
売上原価	6,020,097	7,388,882
売上総利益	1,673,794	4,111,541
販売費及び一般管理費	1,978,918	2,099,992
営業利益又は営業損失（△）	△305,124	2,011,549
営業外収益		
受取利息	13,683	7,943
受取配当金	3	204
持分法による投資利益	634,478	695,495
為替差益	1,208	198,855
その他	18,341	10,690
営業外収益合計	667,716	913,189
営業外費用		
支払利息	33,629	15,361
株式交付費	48	45,563
その他	12,899	4,963
営業外費用合計	46,577	65,888
経常利益	316,014	2,858,850
特別利益		
持分変動利益	28,030	17,396
投資有価証券売却益	206	10,208
その他	11,715	180
特別利益合計	39,951	27,784
特別損失		
固定資産除却損	8,562	3,114
減損損失	22,157	7,936
投資有価証券売却損	19,888	－
投資有価証券評価損	－	8,366
関係会社株式売却損	15,443	－
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	5,055	－
特別損失合計	71,107	19,418
税金等調整前四半期純利益	284,858	2,867,217
法人税、住民税及び事業税	3,045	494,144
法人税等合計	3,045	494,144
少数株主損益調整前四半期純利益	281,813	2,373,073
少数株主利益	6,741	14,719
四半期純利益	275,071	2,358,353

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成22年７月１日 至　平成23年３月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成23年７月１日 至　平成24年３月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	281,813	2,373,073
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	41,022	65,522
為替換算調整勘定	－	60,271
その他の包括利益合計	41,022	125,793
四半期包括利益	322,835	2,498,866
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	316,094	2,484,146
少数株主に係る四半期包括利益	6,741	14,720

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）セグメント情報等

(セグメント情報)

Ⅰ 前第３四半期連結累計期間（自 平成22年７月１日 至 平成23年３月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	ハイブリッド・ソリューション事業	メディア・インキュベーション事業	ベンチャー・インキュベーション事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,955,708	497,096	241,086	7,693,891	―	7,693,891
セグメント間の内部売上高又は振替高	10,159	17,133	―	27,292	△27,292	―
計	6,965,868	514,229	241,086	7,721,184	△27,292	7,693,891
セグメント利益又は損失（△）	500,072	△175,148	83,309	408,234	△713,358	△305,124

（注）１．セグメント利益又は損失（△）の調整額△713,358千円には、セグメント間取引消去76,230千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△789,588千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

２．報告セグメントの変更等に関する事項

連結子会社であります㈱テクノラティジャパンは、平成22年９月30日付で㈱ＤＧストラテジックパートナーズへと商号変更し、第２四半期連結会計期間より「メディア・インキュベーション事業」から「ベンチャー・インキュベーション事業」へと事業内容を変更しております。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自　平成23年７月１日　至　平成24年３月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	ハイブリッド・ソリューション事業	メディア・インキュベーション事業	ベンチャー・インキュベーション事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,984,459	985,470	2,530,493	11,500,423	―	11,500,423
セグメント間の内部売上高又は振替高	6,040	11,507	―	17,547	△17,547	―
計	7,990,500	996,977	2,530,493	11,517,971	△17,547	11,500,423
セグメント利益又は損失（△）	820,708	△59,760	2,024,292	2,785,241	△773,691	2,011,549

（注）１．セグメント利益又は損失（△）の調整額△773,691千円には、セグメント間取引消去83,038千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△856,730千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントの変更等に関する事項

第１四半期連結会計期間より、グループ各社、各部門との連携を強化し、より有機的にメディア・インキュベーション事業の拡大を図るため、当社内にメディアインキュベーション本部を新設したことに伴い、従来「ハイブリッド・ソリューション事業」に含まれておりましたメディア関連事業を「メディア・インキュベーション事業」に変更しております。

なお、変更後の区分による前第３四半期連結累計期間のセグメント情報は、以下のとおりであります。

前第３四半期連結累計期間（自　平成22年７月１日　至　平成23年３月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	ハイブリッド・ソリューション事業	メディア・インキュベーション事業	ベンチャー・インキュベーション事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,687,727	765,078	241,086	7,693,891	―	7,693,891
セグメント間の内部売上高又は振替高	10,159	17,133	―	27,292	△27,292	―
計	6,697,887	782,211	241,086	7,721,184	△27,292	7,693,891
セグメント利益又は損失（△）	512,833	△187,909	83,309	408,234	△713,358	△305,124

（注）１．セグメント利益又は損失（△）の調整額△713,358千円には、セグメント間取引消去76,230千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△789,588千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成23年７月19日を払込期日とする公募による新株式発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ3,528,000千円増加しております。また、平成23年８月９日を払込期日とする第三者割当による新株式発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ504,000千円増加しております。

主にこれらの結果、第１四半期連結会計期間において資本金が4,145,163千円、資本準備金が4,145,162千円増加し、当第３四半期連結会計期間末において資本金が6,017,283千円、資本準備金が6,110,029千円となっております。